

令和7年度 学校評価について

JCHO 東京新宿メディカルセンター附属看護専門学校

1. 学校運営評価

本校では、教育の質の向上を目指して、学校運営、教育全般について年度ごと評価を行い、その評価結果から更に充実した学校運営を図る検討を行います。

2. 評価方法と結果

1) 評価項目

文部科学省「学校評価ガイドライン」、「専修学校における学校評価ガイドライン」、私立専門学校等評価研究機構「評価基準 Ver.4.0」を参考に9項目の評価内容において56の評価内容について評価しています。

2) 評価方法

【自己評価】常勤の専任教員全員により自己評価を行います。

【学校関係者評価】本校が選任した、外部講師およびJCHOグループ関係者等の評価委員により、自己評価の結果について評価を行います。

【評価尺度】0：あてはまらない 1：一部あてはまる 2：概ねあてはまる 3：十分あてはまる

3) 結果（令和7年度） 評価内容の評定平均値（評価点数0～3点）

評価項目	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX
評価内容	教育理念 目的 目標	教育課程	教授 学習 評価過程	組織 管理運営	入学	卒業 就職 進学	地域社会 貢献 国際交流	教職員の 育成	法令等の 遵守
自己評価	2.94	2.77	2.81	2.78	2.63	2.88	2.46	2.42	3.00
学校関係者評価	2.89	2.82	2.83	2.82	2.67	3.00	2.67	2.50	3.00
具体的な取り組み	ディプロマポリシーを学生と共有し、学年毎に中間・最終評価を行いました。学生がディプロマポリシーを意識し、自己成長と課題を自覚できるよう関わり、評価結果を教育活動に活用していきます。 ディプロマポリシーについては、JCHOらしさの見直しや客観的な達成度評価の方法を検討していきます。	講師会議や臨地実習指導者会議、外部評価を受ける機会を設け、教育課程・学習環境の改善につなげています。 実習病院との連携により臨地実習の指導体制は更に改善しつつあり、学生の充実した学びに繋がっています。 教員の自己研鑽の時間が確保され、より専門性を発揮した教授活動が展開できるよう努めています。	新カリキュラムが一巡し、評価修正した科目進度や科目内容で教育課程を展開しました。 授業は、指導案を検討し教員間の協働により実施しています。臨地実習は、学びの質が高まるよう臨地実習指導者と協力し振り返りを行っています。 教員個々に実施している授業評価方法のシステム化を検討していきます。	学習環境に必要な整備を随時行っていますが、計画的な備品購入や整備が必要となっています。 学生支援では、多方面からの継続的サポートが必要な現状があり、個々の学生状況に対応しています。 危機管理として、災害拠点病院である併設病院と協力し、実践的な防災訓練の実施ができるよう検討していきます。	随時評価を実施し新たな募集活動に取り組みしましたが、定数確保はできません。 令和9年度入試に向け、入試やオープンスクールの実施方法を検討修正し、実施していきます。また、新たな広報活動として開設したInstagramやホームページ上の情報発信を工夫し、定数確保に繋がるよう努めています。	国家試験合格と就職100%（うちJCHO関連病院への就職率80%以上）を達成しています。 就職支援では、“看護を語る会”の実施により学生はポジティブなイメージを持ち就職活動を行っています。 ホームカミングデイを継続し卒業後のサポートをしつつ、卒業生の状況を把握し、教育評価、教育方法にも繋げていきます。	学生による地域住民への健康教室や病院内でのミニコンサートを継続して実施しました。また、地域清掃やボランティア活動を通して地域の方々と交流を続けています。 学生と地域住民との交流を継続し、更に学びに繋がる内容や方法を工夫し、地域に貢献したいと願う学生の育成を目指します。	臨床判断能力育成に関する研修や、母体病院が実施する研修会に参加し教授活動に活かしています。授業案や演習、技術検討は継続しており、教員の指導力向上を目指しています。 更に、学会や研修会に参加しやすい体制作り、学内学習会の実施に努め、教員の専門性を高めています。	各種申請や報告は期日までに速やかに行い、法令に基づいた管理運営を行っています。 ハラスメント防止について、学生へ周知しています。教職員・学生共に透明性のある環境づくりに引き続き取り組んでいきます。

令和7年度 自己評価・学校関係者評価結果

